

東京都個人タクシー協会 会報

乗って安心個人タクシー



平成25年
8月号

第34回通常総会

開催日時

7月23日(火)

午後2時

場所

日個連会館

一般社団法人への移行に向けて 「定款変更の案」を承認

議案

- ①平成24年度事業報告
- ②平成24年度一般会計並びに共済会計決算報告
- ③平成25年度事業計画(案)
- ④平成25年度一般会計並びに共済会計予算(案)
- ⑤役員等選任規約一部改定(案)
- ⑥一般社団法人移行に伴う「定款変更の案」
- ⑦入会及び退会等に関する規則(案)
- ⑧会費等に関する規則(案)
- ⑨役員報酬等規程(案)
- ⑩一般社団法人移行に伴う諸規程の廃止案(運営規約、共済規約)



「大きな時代のうねりのなか、個人タクシーの生き残りをかけて頑張らしましょう」と語る木村会長

今年度の通常総会が7月23日に開催されました。冒頭の木村会長の挨拶では、

「昨年の暮れに安倍政権が誕生し、国内全体では景気回復の兆しが見えてきたように思います。われわれの業界にも顕著な兆しを期待しているところです。昨年度は、清掃活動や街頭指導などさまざまな取り組みをしていただき、各方面からの評価を受けています。皆さんのご尽力に感謝します。ところが反対に、昨年は重大事故が多く起きてしまいました。つい最近では運転免許停止中に仕事をしていたということが発覚し、個人タクシーはコンプライアンス(法令遵守)が欠如していると思われるような問題が発生しています。このような状況が続くと、行政や政治家の先生への働きかけも意味がなくなってしまう。何とか是正へ向けて一致結束して難局を乗り越えられるよう、宜しく願っています」

そして、今通常総会是一般社団へ移行という大きな節目です。今こそ「東京社団ここにあり」と一糸乱れず意思表示をして、全国の個人タクシーを率先していか

なければなりません。そして平成25年度を個人タクシーの再生、進化の年となるように、頑張っていきたいと思います」と決意が込められていました。

その後、表彰状等贈呈では、役員等表彰として役員・委員となり永年協会運営に尽力された里神理事、小川理事、柿崎委員の計3名に表彰状が贈られました。また、事故防止コンテストでは、1位の交友支部を代表とした上位5支部(事業者数50名以上)と2支部(事業者数49名以下)に表彰状が贈られました。そして、セーフティドライブバーコンテストでは、城南支部が代表として7年連続の2団体、5年連続の8団体、3年連続の7団体、計17団体が表彰されました。

引き続き行われた議案審議では、すべての議案が可決承認されました。特に一般社団法人移行に関しては熱い議論が交わされ、今後も一致団結して取り組むことを確認し、通常総会は閉会しました。

都内個人タクシー現況 (平成25年7月1日現在)

許可事業者数	15,416名	(前月比-53名)
(特別区、武三)	14,952名	北多摩179名 南多摩285名)
傘下事業者数	15,126名	(前月比-43名)
(特別区、武三)	14,664名	北多摩179名 南多摩283名)

第5回 理事会の焦点

今一度、気を引き締めて

開催日時 7月5日(金) 午後2時
場所 日個連会館
議題

①第34回通常総会提出議案に関する件(一般社団法人移行関係)

②第34回通常総会等「平成25年7月23日」のスケジュールに関する件

③第34回通常総会における特別決議の取扱いに関する件

④(社)東京都個人タクシー協会代議員一部変更に関する件

⑤セーフティドライバー・コンテスト参加に関する件

理事会に先立ち、木村会長より「先日、個人タクシー事業者が運転免許停止期間中に事業用自動車に乗務していたことが発覚し、6月28日付で関東運輸局自動車交通部長及び同局自動車技術安全部長の連名で通達がありました。非常に残念なことですが、緊急に対応をしているところです。7月31日までに報告すべきこと、今後毎月継続的に支局に報告すべきこと等が決まっています。一部の事業者によるものとはいえ、まだまだ資質向上し切れていない状況です。気を引き締めて取り組んでいかなければなりません」という言葉がありました。その後の審議で議題は全会一致で可決承認されました。

無免許運転の防止について通達

運転免許停止は速やかに報告を

個人タクシー事業者が運転免許停止期間中に事業用自動車に乗務していた事案が2件発覚したことを受け、関東運輸局から、再発防止に向けた極めて強い指導の徹底要請がありました。

個人タクシー事業者は、輸送の安全確保の観点から、関係法令の遵守が極めて厳格に求められているのにも関わらず、今回の事案の発生は、法令の遵守及び輸送の安全確保の意識が著しく欠如しているといわざるを得ず、公共交通機関に対する信頼を損なうものであり、誠に遺憾でありますと指摘を受けております。

個人タクシー不要論さえ聞かえてくる極めて厳しい個人タクシー事業を取り巻く現状において、個人タクシーの責務を再確認してください。

今後は、無免許運転を防止するための体制整備として、左記の報告が義務付けられました。

記

○運転免許停止の処分及び運転免許期限を失効した事業者は、速やかに所属団体に報告すること。

○報告を受けた所属団体は、翌月10日までに運輸支局に報告すること。また、無免許運転が発覚した場合には、直ちに運輸支局に報告すること。

第38回 交通事故

防止対策等連絡会議

7月5日(金)警視庁にて「タクシー業界との交通事故防止対策等連絡会議」が行われました。日下交通総務課長から冒頭に挨拶があり「タクシーが関与する交通事故は5月末現在約2500件と前年同期と比べ約13%減少し、10年前と比べると30%以上減少しております。これも皆様を始め業界関係者の方々が安全・安心の旅客運送事業の実現のため、ご尽力された成果であると考えております」と述べられました。

引き続き交通安全担当の吉田管理官より、「5月に個人タクシーが信号のない交差点において、小学生を跳ねる死亡事故が発生しました。現場は反対車線が渋滞していた状況であったものの、横断歩道では子供や人が出てくるかもしれないことを常に予測し、徐行をしなければい



けません。横断歩道は「歩行者優先」であることとをよく指導していただき述べられました。

随時受付中

今すぐ登録を!

銀座1号優良タクシー乗り場
(シヨットガンシステム運用開始)

1. 運用開始日

平成25年9月2日(月)

2. 運用時間

22時~翌1時

(土日、祝日、休日を除く)

3. 乗り場及び待機場

乗り場: 銀座1号タクシー乗り場

(優良タクシー乗り場)

待機場: 築地川第一駐車場

(21時から入場可能)

4. 入路指定

築地川第一駐車場に入構後、洗先橋

交差点・蓬莱橋交差点を経由し、銀座

8丁目交差点を直進して入構

5. 入構登録料

1台当たり年額10000円の予定

6. 入構条件

次の条件を満たした方以外は入構できません。

(1) 優良タクシー乗り場への入構資格(次の何れかに該当)

①マスター事業者

②(公財)東京タクシーセンターの優良運転者表彰受賞者

(2) 車両番号及びETC車載器管理番号を事前登録しており、入構登録料を納入した方

7. 登録方法

所属団体を通じて当協会へ申込書を提出してください。(登録完了の通知が届いてから入構可能となります。)

さらなる安全運転を目指して 自らの変化を認識し、 タクシードライバー交通安全教室開催

7月24日(水)、世田谷区にある警視庁交通安全教育センターにて「タクシードライバー交通安全教室」が開催されました。安全運転のための運転講座とテストコースでの実技講習を通じて、個人タクシー事業者15名が交通安全・事故防止の重要性を再認識しました。

近年、高齢ドライバーによる交通事故が多く発生しており、高齢タクシードライバーが関与する交通事故も、全タクシードライバーによる交通事故の26%を超え、年々増加の傾向があります。これら増加する高齢タクシードライバーの交通事故に歯止めをかけようと、交通安全意識の普及・浸透を図る目的で65歳以上の方を対象とした「タクシードライバー交通安全教室」が開催されました。

開催にあたり、交通総務課交通安全担当吉田管理官より「大切なことは、高齢



指導員と同乗して行う、テストコースでの安全確認走行



一人ひとりの走行映像を見ながら運転動作の問題点を検証しました



教室では「後出しじゃんけん」で不測時の反応について体感しました

コースを走行しました。講習では「いきいき安全講座」というテーマで、認知・判断・操作という一連の動作のトレーニングと、

ドライバーとして現在の身体能力の状況をそれぞれがしっかりと自覚をし、自分にあった運転をしていただくことだと思います。今日の教室で得るものを、模範ドライバーとして周りのドライバーに広めていっていただきたいと思いますよう、宜しくお願いします」という挨拶がありました。

教室はまず実習から行われ、テストコースにおける指導員同乗のビデオ撮影を兼ねた安全確認走行を行った後、ビデオを見ながら右直事故の危険性や回避方法についての説明を受け、再度テストコースを走行しました。講習では「いきいき安全講座」というテーマで、認知・判断・操作という一連の動作のトレーニングと、

受講者の声

危険予測について、ワークシートを使用しグループで話し合いを行い、その内容を発表し合いました。

東個協・新東京支部 井上 正男さん

実習はやはり緊張しました。テストコースでの運転は普段でも気を付けていることでしたが、指導員の方から一つずつ危険予知についての確認を受けて、やはり注意しないといけないなと再認識できました。これからも、この教室で学んだことを参考にして安全運転を心がけたいと思います。



都営協・小岩支部 横尾 幸司さん

自分の運転している様子をビデオで見ながら指摘を受けることで、客観的に自分を見ることができ、改めて気をつけなければと思いました。講習でのグループでの話し合いは、さまざまな意見交換とともに、多方面への注意喚起の必要性を感じる事ができ、大変勉強になりました。



行政処分状況

平成25年6月分

処分日	氏名	処分内容(車両停止)	違反事項	違反概要	点数
6月4日	森田明	40日車	特措法第43条第2項	乗禁地区営業	4点

不適正営業集計表 (街頭営業適正化指導規程)

(件)

発生日	警告事案	講習事案	処分事案	合計
平成25年5月	23	3	3	29

処分事案対応処報告書 (街頭営業適正化指導規程)

平成25年6月報告分

会員	団体名	氏名	発生日	発現場所	対象行為	加重	処分内容
東個協	北第二支部	Y・T	平成25年2月28日	土橋高速入口周辺	乗り場無視	加重	表示灯使用停止 積算停止
都営協	足立支部	M・M	平成25年3月26日	東京駅八重洲北口周辺	交通阻害行為	加重	表示灯使用停止 換金停止
都営協	足立支部	Y・T	平成25年4月4日	東京駅八重洲北口周辺	交通阻害行為		表示灯使用停止 換金停止
都営協	都民同盟支部	H・M	平成25年3月18日	新橋駅東口バス停手前	待機禁止無視	加重	表示灯使用停止 換金停止
都営協	新東京協組	I・Y	平成25年3月26日	東京駅八重洲北口周辺	交通阻害行為		表示灯使用停止 換金停止

※処分事案は東個協・都営協に処分を要請し、平成25年6月中に処分内容の報告があったもの
※加重とは、処分事案としての処리가2回目以降となる場合です

計報

*6月

氏名	所属団体	享年	病名
治部孝明	(東個協・板橋第一)	65	心不全
佐藤浩一	(東個協・大田第二)	66	肝不全
田島富士三	(東個協・北)	57	多臓器不全
石田義久	(東個協・墨東)	78	肺炎
加瀬 勉	(東個協・新東京)	72	胃痛
原島 光	(都営協・東陽)	69	心不全
森田留喜	(都営協・東部)	64	心不全
栗原 甫	(都営協・東京旅客)	73	肝臓癌
大友信彦	(都営協・個団連(同盟))	54	結腸癌
野口義雄	(都営協・個団連(豊玉))	78	食道癌
釜澤 一	(都営協・全東京)	75	大腸癌

ご冥福をお祈り申し上げます

タクシーセンター指導協力員報告会

先頭に立って、立ち向かおう！

7月29日(月)午後2時より、日個連会館にてタクシーセンター主催による、タクシーセンター指導協力員報告会が開かれました。例年開催されている街頭営業適正化特別委員・推進指導員合同会議を兼ね、92名の協力員が参加しました。

タクシーセンター指導協力員による街頭指導は、空車タクシーの不適正な客待ち等による交通問題の改善と街頭指導の強化を目的として、今年2月から六本木地区を中心に試行実施が始まり、4月からは本格的に始動しました。短期間にも関わらず大きな成果が上がっている中で、初報告会となりました。

冒頭、「今までも東京都団並びに両団体共に街頭指導を行ってきましたが、タクシーセンターさんと一体化して街頭指導に取り組むことで、著しい成果が上がっていると聞いています。これからも業界全体を守るために皆さんが



「個人タクシーが全体で資質の向上に努めることが大切」と五十嵐課長

休憩をはさみ、街頭指導の実施状況やその他関連する事項報告の後、質疑応答が行われ、現場での対応に関する具体的な議論や質問は、協力員の意欲と熱意が伝わってくるものとなりました。

休 憩 を は さ み、 街 頭 指 導 の 実 施 状 況 や そ の 他 関 連 す る 事 項 報 告 の 後、 質 疑 応 答 が 行 わ れ、 現 場 で の 対 応 に 関 す る 具 体 的 な 議 論 や 質 問 は、 協 力 員 の 意 欲 と 熱 意 が 伝 わ っ て く る も の と な り ま し た。

冒頭、「今までも東京都団並びに両団体共に街頭指導を行ってきましたが、タクシーセンターさんと一体化して街頭指導に取り組むことで、著しい成果が上がっていると聞いています。これからも業界全体を守るために皆さんが

自信を持って進んでください」と

次 に、 警 視 庁 交 通 部 交 通 総 務 課



林警部補の指導により、予測運転の大切さを感じ

東京ぐるり

支部紹介 第52回

東京都個人タクシー協同組合 武三支部 (所在地:武蔵野市八幡町)

地域や社会への貢献を使命として

武三支部は、事業者252名の約8割が地元に住んでいるという、地域密着型支部です。地域への貢献を軸に、祭りの手伝いや商店街でのリサイクル活動への参加など多くの活動を行っています。なかでも社会貢献事業への取り組みは、特筆すべきものがあります。

「昭和48年から行っているドライブレクリエーションは、重度身体障がい者の方を対象に、武蔵野市民社会福祉協議会と協力をして年に一度の交流と観光を楽しんでいただいています。1チーム4人(障がい者・付き添い・タクシードライバー・ボランティア)で、約20台のタクシーを使い、観光をします。前準備として約4か月間、場所の選定から様々なチェック、当日と同じタイムスケジュールでのシミュレーションを行う等、大変ではありますが、昨年は40年間無事故での開催という大きな節目を迎えることができました」と藤原支部長。

タクシーの担う地域貢献のあり方や可能性が感じられるこの素晴らしい活動は、今年も10月に実施予定。今から準備に余念がありません。

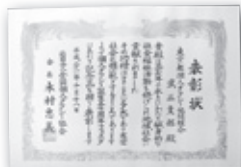


左から濱田副支部長、藤原支部長、関屋副支部長



「場所柄か、穏やかな人が多いですよ」と、スタッフのみなさん

支部の社会福祉活動が認められ、50周年フェスタで表彰を受けました



昨年のドライブレクリエーションは江戸東京博物館へ。参加者の笑顔が活動を支えます



なんでもトピックス

地域のおすすめスポットやクラブ活動、名物ドライバーなどなんでもご紹介

四季が楽しめる街道

支部の目の前を走る伏見通りは、片側が桜並木、もう片側がイチヨウ並木になっており、春は満開の桜、秋は黄金に輝くイチヨウが楽しめます。支部のHPではそんな地元の四季折々の花が掲載され、見る人を和ませる粋なはからいも。

